

## 第2章 実践編

### 【3年生での[自力読み]を取り入れた実践】

1 単元名 場面の移り変わりを読み取ろう 教材文『木かげにごろり』(東京書籍3年下)

#### 2 [自力読み]について

読むことの力を身に付けるためには、自分の力で読み進める[自力読み]の力が必要です。そこで、本単元では[自力読み]の中でも、「変身読み」、「心情読み」、「クイズ読み」等の言語活動を設定します。「変身読み」とは、登場人物を見ているものに変身させ、思ったことを本文の行間に書き込ませる活動です。「心情読み」とは、人物の心情を読み取る活動ですが、今回は2つの方法を考えました。1つは、登場人物の心情が表れている言葉にシールをはり、理由を書き込ませていく「シール読み」です。もう1つは、登場人物の心情をグラフ化させていく「グラフ読み」です。これらの読み方で読み取った、登場人物の心情を確かめるために行うのが「クイズ読み」です。

児童は、これまでに教材文『自然のかくし絵』で「変身読み」、「クイズ読み」、「イラスト読み」の言語活動を経験してきました。これらの言語活動を行わせることによって文章中の言葉に着目させながら、昆虫がいかにか上手に隠れているのか読み取らせることができました。

指導に当たっては、場面ごとに読み慣れる段階で「変身読み」を行わせます。その後、読み取る段階で「シール読み」、「グラフ読み」を自力で行わせます。自力で読ませた後に、自分の読み取りを確かめさせる交流を行わせます。交流の前に教師は児童が自力で行った読み取りを把握します。児童が読み取ることができていないことや着目できていない言葉を補いながら交流をさせます。場面ごとの読み取り終了後に、作品全体を通して「クイズ読み」を行わせ、登場人物の心情を確かめさせます。

#### 3 単元の目標

進んで文章中に書き込みを行うことができる。(関心・意欲・態度)

場面の移り変わりを意識して読むことができる。(読むこと)

それぞれの[自力読み]の方法に従って自分の考えを書くことができる。(書くこと)

#### 4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 書く能力
進んで本文中に書き込みをしている。	登場人物の心情を表す言葉を見付け、理由を書いている。	自分が選んだ自力読みの方法で読み取ったことを書いている。

#### 5 単元における指導計画(全13時間 13は時数)

第1次	通読し、新出漢字の読み方、文種について知る。
第2次	「変身読み」、「シール読み」、「グラフ読み」、「クイズ読み」を行い、読み取る。 第1時... 1, 2場面 「変身読み」を行う。 第2時... 1, 2場面 「グラフ読み」を行う。 第3時... 1, 2場面 「シール読み」を行う。 第4時... 3, 4場面 「変身読み」を行う。 第5時... 3, 4場面 「グラフ読み」「シール読み」を選択して読み進める。 第6時... 3, 4場面 選択して読み進めたことを交流し、読み取りを確かめる。 第7時... 5, 6場面 「変身読み」を行う。

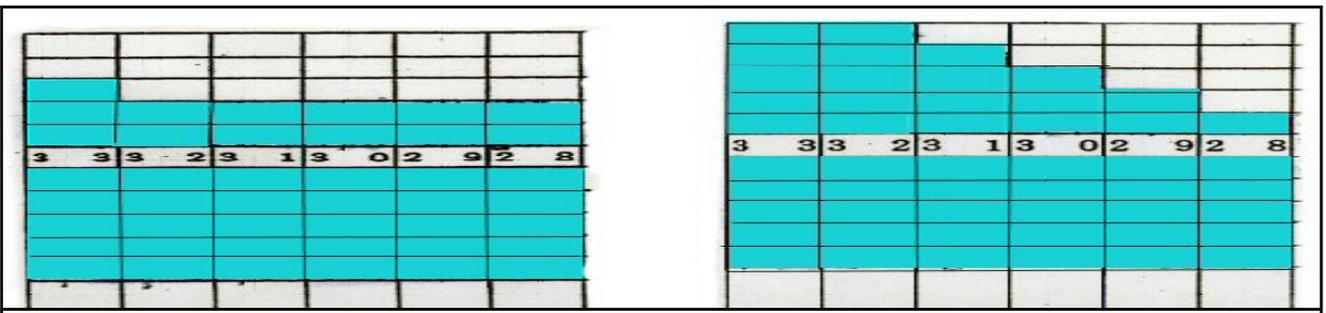
	第8時... 5, 6場面 「グラフ読み」「シール読み」を選択して読み進める。 第9時... 5, 6場面前半 選択して読み進めたことを交流し, 読み取りを確かめる。 第10時... 5, 6場面後半 選択して読み進めたことを交流し, 読み取りを確かめる。 第11時... 1 ~ 6場面 「クイズ読み」でこれまでの読み取りを確かめる。(本時12/13)
第3次	自分が選択した読みの方法で別の民話を読む。

前時までの指導(「シール読み」, 「グラフ読み」一部抜粋)

「シール読み」では, 地主の有利さ, 百姓の不利さが表れている言葉に赤シール, その反対の言葉には青シールをはらせ, その理由を書き込ませながら読み進めさせます。  
「グラフ読み」では, 文ごとに地主が有利か百姓が有利かを考えさせ, 勢力グラフを作らせます。また, グラフの上げ下げについては理由も記入させます。

「シール読み」(五の場面一部抜粋)の例

中庭が板の間になったから  
(28) そのうち木かげが板の間までのびていくと、  
おひやくしようたちはそれをまっつけていたかのよう  
入っつていいと思っつてゐるから  
に、ひよいと板の間上がりこんで、一人がごろり  
人数が多くなつてきてゐるから  
二人がごろり三人がごろりとねっころがりはじめた  
のです。  
地主がものすくびつくりしてゐるから  
(29) おどろいた地主がとんできて、「こりゃあ、だ  
れのゆるしをえて、わしの板の間でねておる。」  
(30) 「地主様、木かげがどこまでのびてゐるか  
しつかり見てくだされ。」  
(31) 「なに、木かげじゃと。」  
本當に木かげがのびていたから  
(32) たしかに木かげがのびてゐます。  
すくにふり返つてゐるから 人数がふえたから  
(33) あわてて地主がふり返ると、中庭いっぱいに、  
おもしろがつてゐる感じ。  
ごろりんごろりんおひやくしようたちがねっころが  
つていたのです。  
(数字) は、文番号  
は、青シール(地主が不利、百姓が有利を表す。  
~~~~~ は、シールをはった言葉  
太字は、理由



「グラフ読み」(5の場面一部抜粋)の例  
左(平ら)地主の状態は変わらない。 数字は、文番号  
右(階段型)百姓が有利になる様子を表す。

6 本時の目標(本時12/13)  
地主や百姓の心情が表れているクイズを作ることで, これまでの読み取りを確かめる。(読むこと)

7 指導の実際

|                         |
|-------------------------|
| 学 習 活 動 と 教 師 の 働 き か け |
| 1 教師が作ったクイズに答える。        |

T: 『木かげでごろり』を1から6の場面まで読んできましたね。はじめは地主が有利でした。

T: 途中から百姓が有利になってきたよ。

C: 6の場面は、百姓がどんどん追い上げて、百姓パワーが最高になったよ。

T: そうでしたね。百姓が大喜びでしたね。では、今日はみんながまだやっていない「クイズ読み」で、今まで読んできたことを確かめていきたいと思います。では、どんなクイズを作るか先生クイズを例に出してみます。

クイズ1 百姓が地主から買い取ったものは何でしょう。  
広場 木 木かげ

文中の言葉を根拠にさせることを意図しました。クイズのモデルを示します。

C: の木かげでいいですか。

C: はいそうです。

T: 木かげでいいのかな。木ではいけないのかな。

C: 木かげだよ。だって、「木かげを買い取りました」と書いてあるよ。

C: 木を買い取ったんだったら、木かげになった場所には入れないよ。だから、 の木かげです。

T: そうだね。よく読んでいたね。では、先生クイズ第2問を出します。

クイズ2 地主が驚いているのが一番分かるのは次のうちどれでしょう。  
地主が歩いてきて 地主がとんできて 地主が走ってきて

C: の「歩いてきて」は、あまりびっくりしていない感じです。 の「走ってきて」は、少しびっくりしている感じです。 の「とんできて」は、かなりびっくりしている感じだから の「とんできて」です。

C: の「歩いてきて」は何もびっくりしていない感じです。

T: 2つのクイズを比べたら違うところがあるけれど、どのように違うかな。

C: クイズ1は、ものを聞いています。クイズ2は、感じ方を聞いています。

T: 感じ方と言ったけど、感じ方とは例えばどういうことか分かるかな。

C: 例えば楽しいとか驚いているとかです。

T: そうだね。感じ方を別の言い方に直したら、気... 。

C: 気持ちだ!

T: 今日は百姓や地主の気持ちが分かるクイズを作ってほしいと思います。

## 2 本時のめあてを知る。

百姓や地主の気持ちが分かるクイズを作って、出し合おう

クイズの内容を示すことで、評価を共有させます。どんなクイズを作ればよいのかが明らかになります。

T: 地主か百姓どちらかの気持ちが分かるクイズを作ったら、花丸(評価B)です。地主と百姓の気持ちが分かるクイズを両方作ったら、もっといいですね。(評価A)

## 3 個人で百姓または地主の気持ちが分かるクイズを作る。

クイズ作成後、お互いにクイズを出し合う時のために、ワークシートに答えとその理由を書かせました。言葉に着目し、文中の言葉を根拠にすることができました。

S児の問題 地主から木かげを買い取るとき、百姓はどんな気持ちだったでしょう。  
いやだな 何ともない 楽しみ

答え いやだな 理由は、「しかたなく」という言葉があるから、いやいやながら買い取っていることが分かる。

S児が「しかたなく」という言葉に着目して百姓の気持ちを読み取っていたので賞賛しました。さらに、地主の気持ち分かるクイズを作るように促しました。

M児の問題 3, 4, 5の場面で地主が一番困っているのはどの場面でしょう。

3の場面 4の場面 5の場面

答え 5の場面 理由は、「あわてて」、「とんできて」、「ふり返って」、「頭をかかえて」、「へたりこんだ」など地主が困っている言葉がたくさんあるから。

M児が地主が困っている言葉を複数見付けて理由を書いていたので賞賛しました。さらに、百姓の気持ち分かるクイズを作るように促しました。

#### 4 隣同士でクイズを出し合い、気持ちを問うているか相互評価する。

T: では、隣同士でクイズを出し合ってください。地主や百姓の気持ち分かるクイズになっているか確かめましょう。

(K児とE児のやりとり)

K: (問題を出す。問題と答えは書いたが、理由を書いていない。)

K児の問題 地主が百姓に怒ったのは、何回ですか。

答え 4回

E: 4回でしょう。

T: その4回はどこですか。

E: 「こりゃあ、だれのゆるしをえて、わしの木かげに入ろうとする。」

「こりゃあ、だれのゆるしをえて、わしの門の前でねておる。」

「こりゃあ、だれのゆるしをえて、わしの中庭でねておる。」

「こりゃあ、だれのゆるしをえて、わしの板の間でねておる。」

T: 地主は4回怒っているけど、4回とも同じように怒っているのかな。

K: だんだん地主は困っていると思う。

T: どうしてそう思うのかな。

K: だって、門の前は地主の家の中じゃないけど、板の間は家の中にまで入り込まれているから。

T: じゃあ、地主が一番困っているところをクイズにしたらもっといいと思うよ。

K: (教師からアドバイスを受けて、問題を作り直す。)

K児が作り直した問題 地主が一番困って百姓に怒っているのはどこでしょう。

中庭 板の間 門の前

答え 板の間 理由は、門の前は地主の家のしき地の外で、中庭はしき地の中で、板の間は家の中にまで上がりこんでいるから。一番せめられているのは板の間だから。

クイズを作るときに、教師の指導が重要です。K児が作成した問題には理由が書いてありませんでした。そこで2人のやり取りの中に教師が入り、質の違いに気付かせる問い(4回とも同じように怒っているのかな、地主が一番困っているところは?)を投げかけることで、K児の問題に対するアドバイスを行いました。「一番」というキーワードを基に答えを考えることができました。

## 5 代表児童のクイズを全体で出し合う。

T：では、気持ちクイズを作ってもらって、いい問題がたくさんできました。みんなの前でクイズを出してもらいたいと思います。

N児の問題 困った地主がやった行動は次のうちどれでしょう。

地べたにすわりこんだ 地べたにころんだ 地べたにへたりこんだ

C： の「地べたにへたりこんだ」でいいですか。

N： はいそうです。

C：理由を言えます。「すわりこんだ」だったら、あんまり困ってない感じがします。「ころんだ」と、ただ転んだだけかもしれないし、「地べたにへたりこんだ」だったら、困って力が抜けておとなしくなった感じがするからです。

C：「力がぬけておとなしくなった」が困ったことがよく分かるいい言葉です。

Y児の問題 困った地主がやったことは次のうちどれでしょうか。

頭をかかえた はらをかかえた 荷物をかかえた

C： の「頭をかかえた」でいいですか。

Y： はい、そうです。

C：理由を付け加えます。 の「はらをかかえた」は、笑っているときだからです。

C：大笑いするときだよ。

C：「頭をかかえた」は、困っているときや悩んでいるときに使うからです。

の「荷物をかかえる」は、運んでることをかかえると言うからです。

C：荷物が重たいときに使うよ。

C：旅行にも行ってないのに荷物はかかえなくていいよ。

C：まとめると、 の「頭をかかえる」は、困ったときで、 の「はらをかかえる」は、面白がっているときで、 の「荷物をかかえる」は、運ぶときに使います。

T：同じ「かかえる」という言葉でも違う使い方をするんですね。それと、困ったことを「頭をかかえた」とか「地べたにへたりこんだ」とかいろんな言葉で言えるんですね。

## 6 本時の学習を振り返る。

T：では、今日の学習の振り返りを書いてください。

A児が書いた振り返り（発表）

おひゃくしょうが困っているとか地主がおどろいているとか問題の中に気持ち言葉を入れることができ、おひゃくしょうの気持ちがだんだんどうなっているかよく分かりました。

T：「おどろいた」とか「困った」とか気持ち言葉を問題文の中に入れたら気持ちクイズができるのね。

F児が書いた振り返り（発表）

「おどろいて」を別の言葉で言うことができると分かりました。例えば「とんできて」とか「あわてて」とかです。

T：「おどろいて」を別の言葉「とんできて」にも換えられますね。

## 8 授業の考察 [自力読み]の可能性

今回、場面ごとの登場人物の心情の変化を読み取るために「心情読み」の中の「シール読み」、「グラフ読み」を行わせました。「シール読み」は、地主の有利性、百姓の不利性が表れている言葉には、赤シール、その反対の言葉には、青シールをはり、理由を書かせます。このやり方は、他の物語文で、登場人物の心情の変化を読み取らせるときにも使うことができます。中学年まではシールをはるという活動そのものが、楽しみながら言葉を見付ける意欲付けになります。高学年になると、心情が表れている言葉にサイドラインを引かせる活動も考えられます。「シール読み」は、言葉一つ一つに着目させて読み取らせる有効な手立てだと考えられます。今後、語から語群、語群から作品全体へと言葉の重なりを読み味わわせるように指導を工夫していかなければならないと考えています。

作品全体（1の場面から6の場面まで）の読み取りを確かめるさせるために「クイズ読み」を行わせました。児童のクイズ作りの状況を見ると細部を問う問題に偏りがちです。ですから、「百姓の気持ちを問うクイズ」、「地主の気持ちを問うクイズ」などテーマを決めた方がより単元の目標に沿った活動になると思われます。地主は、初めは百姓を怒鳴りつけているけれど、後では困っていることが分かります。このように、作品全体を読み取った後の「クイズ読み」であれば、登場人物の心情の変化が分かるようになります。場面ごとに読み取った後に場面の読み取りを確かめる「クイズ読み」を行わせることもできます。また、説明文で確かに読み取るために「クイズ読み」を行わせることもできます。

「グラフ読み」では、文ごとに地主が有利か百姓が有利かを考えさせ、勢力グラフを作らせます。1ますの上げ、下げなので、「どうして1ます上げた」などの理由を話し合いやすくなります。また、作品全体のグラフをつなげると、登場人物の心情の変化をとらえやすくなります。

今後は、教材文や指導過程、単元目標に合った[自力読み]の組合せや選択について探っていかなければならないと考えています。

## 9 [自力読み]の種類と単元例

今回の研究では「読むこと」領域の単元において[自力読み]の指導に取り組みました。[自力読み]として、次の5つの方法を設定しました。

| [自力読み]の種類           | [自力読み]の方法                                                 |
|---------------------|-----------------------------------------------------------|
| 問い直し読み(クイズ読み)       | 自分で問題を作り、その問題に答えながら読み進める。                                 |
| 絵図読み(イラスト読み)        | 読み取ったことを絵や図に表しながら読み進める。重要語句を絵や図に書き加える。                    |
| 語彙抽出読み<br>(ことば地図読み) | 本文中から読み取るために必要と考える言葉を抽出し、言葉同士の関係を明らかにしながら読み進める。           |
| 変身読み(へんしん読み)        | あるものに変身し、自分と比較しながら読み進める。                                  |
| 心情読み(こころ読み)         | 登場人物の心情が表れている部分に線を引いたり、シールをはったり、グラフ化したりして、変化をとらえながら読み進める。 |

問い直し読み、絵図読み、語彙抽出読みは、確かに読ませるために行かせます。変身読み、心情読みは、豊かに読ませるために行かせます。心情読みには、シールをはらせる「シール読み」、グラフをかかせる「グラフ読み」などがあります。

例えば、これらの読みの力を生かした次のような単元が考えられます。

学習の流れ（単元）

（ ...達成不十分な子どもへの指導）

| 過程    | 形態 | 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 実践化への手立てと評価<br>子どもの意識の流れ<br>教材文「鳥のちえ」(教育出版)での例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読み進める | 個人 | <p>学習目標を確認する。<br/>音読する。<br/>どのような「自力読み」がいいか話し合う。</p> <p>実践化への手立てと評価<br/>読みのめあてを提示する。</p> <p>教材文を基に「自力読み」の方法を決めさせる。</p> <p>「自力読み」をする。</p> <p>「関心・意欲・態度」<br/>自分の方法で読み進めることができる。(記述)<br/>教師が例示する。</p>                                                                                                                                                                        | <p>子どもの意識の流れ<br/>教材文「鳥のちえ」(教育出版)での例</p> <p>どんな鳥にどのようなちえがあるのかな。</p> <p>【自力読み】今回は問い直し読みと変身読みの場合</p> <p>問い直し読み(クイズ読み)      変身読み</p> <p>↓      ↓</p> <p>どんな問題を作ろうかな。      何に変身して読もうかな。からすが貝をわる話だからラッコに変身して比べながら読んだ方がいいんじゃないかな。</p> <p>↓      ↓</p> <p>「おとしもわれない木の実はどうするでしょう」という問題はどうか。      ぼく(ラッコ)は石で貝をわるけど、からすはおとしわらんだね。</p> <p>↓      ↓</p> <p>さんの問題に答えたらちえが分かったな。もう少しちえについての問題を作ればよかったかな。      さんの書き込みはおもしろいな。鳥のちえがよく分かるな。鳥の仲間のにわとりに変身してみてもおもしろかったかも…。</p> |
| 読み取る  | 個人 | <p>発表し合うことで、自分の書き込みとの違いに気付かせる。</p> <p>「自力読み」の方法や内容について、クラスで練習合わせ、目標に迫らせる。作った問題を出し合わせる。</p> <p>「読むこと」<br/>読み取ったかどうかを確かめることができる。(記述・発言)<br/>友達の書き込みを参考にするように促す。</p> <p>自分の書き込みについて振り返る。</p> <p>自分の書き込みでどれが一番大切だったかを振り返らせる。</p> <p>振り返りのポイント<br/>・どの書き込み(問題)が読み取りに有効だったか。</p> <p>一番大切な問題または書き込みを考えることで、教材文の読み深めへ誘う。</p> <p>振り返りのポイント<br/>・だれの書き込み(問題)が学習目標を達成するのに有効だったか。</p> | <p>↓      ↓</p> <p>ぼくの問題ではこれが一番気に入っているけど、「鳥のちえ」にとって大切な問題かな。      「鳥のちえ」について考えるためには、～に変身した方がよかったな。</p> <p>↓      ↓</p> <p>やっぱり「鳥のちえ」について考えるためには、さんの問題が一番大切だと思うな。      あの言葉のところに書き込むことが大切だったんだな。</p> <p>↓      ↓</p> <p>おもしろいな。今度はどんな方法で読もうかな。</p>                                                                                                                                                                                                           |
| 読み深める | 集団 | <p>本学習において一番大切な書き込みは何だったのか話し合う。<br/>[相互振り返り]</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |